

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年 5月27日更新

事務事業名		参議院議員通常選挙事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連					
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	選挙管理委員会	課長名	建岡 純雄		
	施策	14	市民参画によるまちづくりの推進		所属課	選挙管理委員会	担当者名	合志 義浩		
	基本事業	42	地域づくり(まちづくり)活動機会の確保		所属班	選挙管理委員会	(内線)	1225		
予算科目		会計一般	款 2	項 4	目 9	事業連番 10346	法令根拠	公職選挙法	成果優先度評価結果	
終了、開始年度		<input checked="" type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始			事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度				

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	参議院議員通常選挙の管理執行。参議院議員の任期は6年で、3年ごとに定数の半数、121人を改選する(日本国憲法第46条)。定数は242人で、うち96人が比例代表選出議員、146人が選挙区選出議員である。なお参議院議員通常選挙は任期満了による3年ごとの選挙のみを指す。今回は、平成22年7月25日で任期満了となる為、6月24日に公示され、7月11日に投票が行われた。参議院熊本県選出議員通常選挙では定数1名に対し、5名が立候補した。参議院比例代表選出議員通常選挙(全国区)では、73名の改選議席に対し、12の政党と187名が立候補し選挙が行われた。 当日投票に行けない選挙人のために、期日前投票所を6月25日から7月10日まで16日間、合志庁舎、西合志庁舎の2箇所、午前8時30分から午後8時まで実施した。当日投票所は市内2箇所、午前7時から午後8時まで行った。 その他の投票制度に、滞在市町村での不在者投票、一定の障害を持つ方のための郵便等による不在者投票、指定施設による不在者投票、在外選挙人投票などを受けた。開票は当日の午後9時10分から合志市総合体育館(ウィーブルメインアリーナ)で即日開票を行った。
(開始した背景、きっかけ、今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	①投票所、開票所の指定②ポスター掲示場設置③資材、消耗品等の準備④開票管理者、投票管理者、期日前投票管理者、職務代理者、投票立会人、期日前投票立会人の選任⑤選挙人名簿の調製(投票所入場券発送)⑥在外投票事務⑦啓発(看板の設置、防災無線放送、公用車での広報(録音テープ放送))⑧選挙公報配付⑨開票立会人の決定⑩事務従事者説明会⑪投票所設置⑫投票事務(期日前投票、不在者投票を含む)⑬開票事務⑭県選管へ結果報告⑮選挙資料検収⑯選挙執行委託費の実績報告及び請求
【主な予算費目】	・報酬、職員手当等、時間外勤務手当、旅費、需用費、役務費、委託料、使用料及び賃借料、負担金補助及び交付金
【意見や要望】	参議院議員通常選挙の比例代表については、全国区のため、180名を超える候補者か12の政党のどちらの記載でも良く、選挙人からは制度がわかりづらいとの声がある。また、開票事務においても候補者が多すぎて仕分けや疑問票、按分票等の判定に時間がかかる。 投票所では、スロープが無いところもあり、バリアフリーに関する要望が寄せられた。 期日前投票所を2箇所(合志庁舎、西合志庁舎)で実施しているが、泉ヶ丘支所で実施してほしいとの意見がある。 当日投票所の投票時間を午前7時から午後8時まで実施しているが、投票立会人や事務従事者から、長時間勤務による疲労などもあり、また、午後6時以降の投票者は少なくなるため、投票時間の短縮を望む意見が寄せられた。議会からも同様の意見が一般質問にて取り上げられてきているか?

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 22年度実績(22年度に行った主な活動)(DO)	23年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
6月24日に公示され、7月11日に投票が行われた。参議院熊本県選出議員通常選挙では定数1名に対し、5名が立候補した。参議院比例代表選出議員通常選挙(全国区)では、73名の改選議席に対し、12の政党と187名が立候補し選挙が行われた。	なし
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
ア 候補者数(熊本選挙区、比例代表は除く)	選挙執行による事業完了
イ 当選人数	人
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
・選挙事務従事者・有権者	(単位)
	ア 有権者数
	イ 当選人数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
法律に定められた選挙に関する事務の適正な遂行を管理する。	(単位)
	ア 投票に対する苦情件数
	イ 事務執行での問題点
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込	総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 (期間限定複数年度のみ記載)
① 活動指標	ア 人	0	0	3	5	0	0	0		
	イ 人	0	0	1	1	0	0	0		
② 対象指標	ア 人	0	0	42,300	42,890	0	0	0		
	イ 人	0	0	1	1	0	0	0		
③ 成果指標	ア 件	0	0	0	2	0	0	0		
	イ 件	0	0	0	0	0	0	0		
入費	国庫支出金	千円								
	都道府県支出金	千円			24,994	17,262				
	地方債	千円								
	その他	千円								
	繰入金	千円								
	一般財源	千円								
量	(A) 事業費計	千円	0	0	24,994	17,262	0	0	0	
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	15,720	9,763	0	0	0	
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	14,208	8,399	0	0	0	
	人件費	人	0	0	145	146	0	0	0	
人件費	延べ業務時間	時間	0	0	4,400	3,047.5	0	0	0	
	(B) 人件費計	千円	0	0	17,512	12,555	0	0	0	
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	0	42,506	29,817	0	0	0	0

事務事業名	参議院議員通常選挙事業	所属部	選挙管理委員会	所属課	選挙管理委員会
-------	-------------	-----	---------	-----	---------

2 評価の部 (SEE) *原則は22年度の後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 開票事務については、事務手順の見直しにより効率化を図り、従事者数の削減、開票時間の短縮が望める。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他の方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似するものはない
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 開票事務については、事務手順の見直しにより効率化を図り、従事者数の削減、開票時間の短縮が望める。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 投票事務においては、電算システム(入場券ハガキのバーコード読取り)の導入により従事者の削減を図ることは可能。開票事務については、事務手順の見直しにより効率化を図り、従事者数の削減、開票時間の短縮が望める。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 公職選挙法に基づき執行する事務であり、受益者負担の考え方はなじまない
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 公職選挙法による市選挙管理委員会での執行管理事務であるため移行できない。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

選挙事務においては、法に定められた選挙に関する事務の適正な遂行ができた。しかしながら、投票所においてはバリアフリーとなっていない所もあり、1名転倒による怪我人が出た。開票所においても、比例代表選挙において、180名を超える候補者と12の政党の仕分け、按分計算や疑問票の判定など、制度が複雑な面もあり、開票作業に予定より時間が掛かった。次回は更なる、作業効率の向上に取り組み、開票時間の短縮を図りたい。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p>																						